

ひとりひとりを大切に千葉市政を!

議会報告

千葉市議会議員 (中央区)

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2015年春の便り号② (通算第25号)
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108
ホームページは **亀井たくま** で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.com



4年間すべての議会で質問に登壇しました!
今後も初心を忘れず、地域・議会で全力で働きます!

市民の皆様、お変わりありませんか!平成27年第1回定例会(2月議会)が行われ、亀井たくまは3月3日に任期最後の一般質問(16回目)に登壇しました。平成23年4月の当選以来、これまで16回のすべての議会で質問に立ち、市民の皆様からいただいたご意見・ご要望の反映に努めてまいりました。
また、今回の議会では、新年度平成27年度予算について、慎重審議を行う中で、やはり市民の皆様からのご意見・ご要望について提言がなされてまいりました。
皆様のおかげで4年間の任期を全うすることができました。心から感謝を申し上げます。そして、この間いただいた多くの方々からの叱咤激励を胸に、今後も初心・市民目線・現場感覚を忘れず、さらに勉強・精進してまいります。どうぞよろしく願い申し上げます!

1 課題・生活不安を抱える市民への支援について

～市民の課題や困りごとに寄り添う行政を!～

- Q 4月から「生活困窮者自立支援事業」が全国でスタートする。市でもモデル事業を先駆けて始めているが、生活に困窮した市民を支えるための庁内の連携は十分か。さらなる連携強化を。
- A 平成25年12月より、中央区と稲毛区に「生活自立・仕事相談センター」を設置し、生活困窮の市民への支援を行っている。これまで庁内の各課と連携を深めてきたが、今後も庁内部署の情報共有など連携強化をはかっていく。
- Q 生活保護に陥る前や生活困窮がひどくなる前に早期発見し、支援していくことが重要だが、早期発見の取り組みは。
- A センター利用にあたっては、所得等の制限を設けておらず、できるだけ幅広く対応することが可能である。これまでも関係機関や民生委員を通じての早期発見やインターネットカフェにセンターのチラシを配架するなどの取り組みを行ってきたが、今後もあらゆる機会を通じて、困窮する市民の早期発見・早期支援に努めていく。

亀井はこう考える! — 生活保護や困窮に陥る前の支援の充実を!

社会情勢・経済情勢により、本市でも生活保護世帯の増加(千葉市だけでも費用は年間300億円超。うちの負担は約80億円)や貧困世帯・ひとり親家庭等も増加していると言われてます。生活に困窮する市民により早い段階で支援をしていくことが生活保護にもつながります。生活保護に陥る前や困窮が重度化する前の早期支援を求め、4月から全国で開始される「生活困窮者自立支援事業」の効果的な運用、庁内の連携体制の強化、早期発見に向けた取り組みの充実について質問・提案をしました。

このほか、以前の議会でも取り上げた「多重債務(サラ金)を抱えた市民への支援」「役所窓口における市民の不安や課題の支援」「区役所等で行われている各種相談事業の充実」などについて質問・提案を行いました。

2 千葉競輪場の今後および公共施設の再編について

～競輪場跡地を有効活用し、千葉駅北口地域の活性化を!～

- Q 競輪場廃止の時期は。廃止による経費は。
- A 平成29年度末に廃止予定だが、平成28・29年度の2年間の包括委託業者が見つからない場合、平成27年度末で廃止する。廃止によって施設を解体する場合、10数億円の経費がかかると見込んでいる。
- Q 「サイクル会館」「競輪場駐車場」「従事員」の今後は。
- A サイクル会館(松波1丁目)は土地・建物ともに市所有であり、今後の利活用を検討し、用途がなければ売却する。駐車場は、国有地・市有地・私有地が混在しており、今後の跡地の活用とともに、そのあり方を検討していく。働く従事員は事業廃止後はハローワーク等と連携し、支援していく。
- Q 地域住民への説明機会は。廃止後の土地の利活用についても地元・市民意見を聞く機会を求めているか。
- A 周辺の住民にご理解いただけるよう、4月中を目途に地元町内自治会に説明を行っていききたい。
- Q 競輪場(4.3ha)は3分の2(3ha)が国有地だが、土地の利便性を活かし、千葉公園スポーツ施設の再編も含めて、さらなる公共施設の再編や地域活性化を求めるが、今後は。
- A 国有地の部分は国と有償で借地契約を結んでいる。事業廃止後は、競輪場跡地および千葉公園全体の施設のあり方を考える中で、体育施設の集約化や土地の特性などを踏まえて総合的に検討していききたい。



亀井はこう考える! — 競輪場跡地は千葉公園とあわせて利活用を!

「千葉競輪場」は、戦後復興施策の一環として、昭和24年に開設され、長らく市民に親しまれ、本市の財政に大きく寄与(約600億円)してきましたが、近年、競輪人口の減少により、入場者・売上が低迷し、この1月に事業廃止の方向性が発表されました。

地元・市民の皆様からは、跡地の利活用について多くご意見・ご要望をいただき、現状と今後について質問および提案をしました。隣接する千葉公園のスポーツ施設も老朽化により、建て直しが検討されています。敷地の3分の2を国有地が占めるなどの課題もありますが、土地の立地を活かし、地域活性化の視点も含めて今後の整備を進めるよう提言をしました。市全体でも、今後老朽化した公共施設の再編・再配置が課題にもなります。跡地の有効活用に向けて、地元の皆さんと一緒に行動してまいります。

予算審査特別委員会でも質問に立ちました。

- 【保健福祉局】(2月24日)
- 生活保護行政の適正運営について
 - 障がい者グループホームの整備促進について
 - 発達障がいの子どものための巡回相談員の導入について
- 【消防局】(2月24日)
- 消防団員の確保策について
 - 救急車の適正利用の推進について
- 【病院局】(2月25日)
- 市立病院の職員の接遇力向上について

生活でお悩みの方は、「生活自立・仕事相談センター」へぜひご相談ください。

一人で悩んでいませんか?

日々の生活で悩みがあるけど、どうしていいかわからない... 長年仕事をしていないので、仕事に就く自信が持てない... 人間関係や家族関係で悩みが... 収入が少なく、今後の生活が不安...

千葉市生活自立・仕事相談センターでは、経験豊富な相談員が懇切丁寧に、仕事・失業・病気・人間関係・将来のことなど、ひとり一人の悩みに応じた解決策を考え、寄り添いながら生活立て直しのお手伝いをします。

千葉市にお住まいの方であれば、どなたでも【無料で】相談できます。秘密は守ります。ひとりで悩まずに、まずはご相談下さい。

千葉市生活自立・仕事相談センター中央 千原市生活自立・仕事相談センター稲毛
TEL:043-202-5563 FAX:043-221-3370 TEL:043-207-7070 FAX:043-207-7072

1期目の4年間、こんな質問・提案をして、実現をしてきました!

- 【福祉・健康】
- 認知症施策の推進。高齢者の財産保護・権利擁護の推進!
 - 市民の健康づくり事業の推進。介護支援ボランティアの拡充!
 - 障がいの理解促進・障がいのある方々の社会参加の促進を!
 - 地域包括ケアシステムの確立を!地域の見守り体制支援を!
- 【子ども・若者・教育】
- 出産・子育て環境の充実。男性の育児参加促進。
 - いじめ防止の取り組み強化を!いじめを許さない教育を!
 - 子ども・若者向けの相談窓口への「メール相談」の導入を実現!
 - 子どもの貧困の解消を!すべての子に豊かな学習・教育機会の提供を!
 - 障がいがある子ども安心して学び、暮らせる環境を!特別支援教育の充実を!
 - 結婚・婚活支援について、市議会で初めて提言!
- 【まちづくり】
- 子どもの通学路の安全対策を各所で実現!
(カラー舗装やカーブミラーなど)
 - 院内小入口の横断歩道橋の撤去・交差点改良!
 - 生実・南生実町交差点(埋蔵文化財調査センター入口)に信号機設置!
 - 千葉公園利用者のために、競輪場駐車場の一部開放を実現!
 - 高齢者や障がいのある方にやさしいユニバーサルデザインのマチづくりの推進!
 - 社会的マイノリティ・性的マイノリティにもやさしいまちづくりを提言!
 - 千葉駅周辺地域・中心市街地の利便性向上・活性化を!
- 【環境・くらし】
- ごみのリサイクル機会の拡充!電力自由化・自然エネルギーの促進!
 - 3・11震災後、市内500か所で放射線量を自ら測定し公表!
 - ふるさと意識・千葉市の歴史・伝統の継承を!「千葉市歌」の活用を!
 - 犬・猫殺処分ゼロを提案し、新たな飼い主探しのためのホームページの充実、ノラ猫の不妊手術数の充実、センターへ犬・猫を持ち込む(捨てる)際の手数料の値上げを実現!
 - 市役所窓口等のおもてなし・接遇力の向上を!相談窓口体制の充実を!
 - 高原千草村の存続問題を話し、活性化・利活用について提起!
- 【議会改革】
- 16回のすべての議会で質問に立ち、報告ニュースを150万部配布!
 - 議員報酬などをニュースやホームページで全面公開。



[2月に千葉駅弁天口での安全対策が行われました]

(ここに掲載した項目は一部です。このほかにも多くの分野で質問・提案しています)

今後も全力で働きます!

紙面の都合で掲載できませんが、今後に向けての皆様とのお約束を記したパンフレット、議会報告ニュースのバックナンバーがあります。必要の方はどうぞお気軽にご連絡ください!お届けさせていただきます!

～約束を果たします～

1期目で約束した報酬カット分(約1000万円)は、いずれ必ず市民の皆さんに還元します!

まもなく4年の任期が終わろうとしています。私は前回選挙において、「議員報酬2割カット、ボーナス5割カット、議員定数の削減」を公約しました。

現在、議員報酬5%カット、政務活動費10%カットや議員定数4名削減が行われるなど、議会改革も前進をしていますが、市民の皆様との約束を果たすべく、削減できなかった残りの部分については、別会計として積み立て、いずれ市民の皆様になかなかの形で還元することをお約束します。(前回議会で決めた議員ボーナスの増額分13万円も市民の皆様へ還元したいと思っています)

※12月議会における「議員ボーナス増額」案への賛否めぐって、1月に共産党市議団が発行したニュースの記事で「共産党以外の議員がすべて賛成した」ともとれる表記があり、市民の皆様からそのような指摘を私も多く頂戴しました。そのため、前回の亀井たくま議会報告ニュース24号でその件についての記事を掲載しましたが、共産党市議団のニュースを「全くのデタラメで事実無根」と表現した部分についてはお詫びします。

市政へのご意見は

TEL/FAX 043-255-8108
携帯電話 090-3694-4173

(事務員も問わず、1人で活動しておりますので、留守が多いです。携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします!お手紙も大歓迎です!)

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>
メール DQG06110@nifty.com

フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています! 亀井たくま で検索を!

亀井たくまのプロフィール

1980年生まれ。椿森出身・在住。35歳。作草部幼稚園、都賀小、椿森中、市立千葉高、早稲田大学政経学部、同大学院公共経営研究科修了。行政書士。社会福祉士。椿森3丁目・5丁目役員。千葉市スポーツ推進委員。院内小スポーツ振興会委員、椿森中青少年育成委員会委員。青少年相談員。ホームヘルパー2級。防災士。保健消防委員会委員。大森市・防災対策特別委員会副委員長。

2007年の市議選は21票差で落選。2011年、5622票を頂戴し当選。日々修行中です!
趣味は明治～昭和の懐メロです。(介護施設、老人会、自治会等で懐メロの演奏・茶話会のボランティアできます!詳しくはお電話ください!)好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎です。

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします! —
ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。
郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくま と 亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!